



松阪、三重が優秀賞

高校演劇
南勢大会
来月の県大会に出場決める



第50回県
高等学校演
劇大会南勢
地区大会

(県高等学校演劇連盟など主催) 夕刊三重新聞社など後援) が28日午前9時20分から午後6時ごろまで、多気郡多気町相可の町民文化会館で開催された。県立松阪高校と私立三重高校の各演劇部が優秀賞に選ばれ、8月6日から8日にかけて鈴鹿市民会館で開かれる県大会への出場権を獲得した。

同大会には両校のほか、県立飯南と県立明野、県立宇治山田商業、私立伊勢女子の各高校が出演。それぞれ約1時間の演劇部の部室に見立てた舞台で熱演する(右から)濱口あかりさん、大橋麻美子さん、神農規医子さん、多気町相可の町民文化会館で

りな舞台装置を10人のスタッフで支え、キャスト3人が演じた。三重高は、部長の濱口あかりさん(2年)、大橋麻美子さん(1年)、神農規医子さん(同)が出演。神農さん演じるトウゴが、新潟地震で亡くなったという事実を受け入れられないでいる濱口さん演じるカナエ。3人の友情を通して、カナエがトウゴの死を受け入れ、前向きに受験に立ち向かえるようになるまでの心の成長を表現した。